工事説明書

M・V対応型 | 625mm用

コンビネーションレンジタイプ	型式名 GMO-S1300E型 GMO-S1300型
ガス高速オーブンタイプ	型式名 GR-S1300E型 GR-S1300型

■ 工事される方へのお願い……この「工事説明書」を設置工事前に必ずお読みください。

◎設置工事が終わりましたら（設置工事後の点検確認）のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。

◎この機器には、必ず当社指定のビルトインコンロと接続してください。
指定以外のビルトインコンロとの接続はできません。

設置工事後の点検確認

不備があると、感電・火災・ガス漏れなど思いがけない事故の原因になります。

● チェックリスト

点検項目		点検内容	参照ページ	チェック
機器及びその周辺	ガス種・電源	銘板は使用するガス種・電源と適合していますか。	2	
	同こん部品	正しく取り付けられていますか。また不足はありませんか。	4	
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離・火災予防の措置は十分ですか。	3	
	設置条件	障害物等との離隔距離は十分ですか。	3	
	保守・管理上の空間	点検・修理に必要な空間はありますか。	3	
	水平設置	水平に設置されていますか。	3	
	安定設置	強固に設置され、ガタツキはありませんか。	3	
	機器高さ	高さの微調整によるこんろとのスキ間は適切ですか。	5~9	
	給排気	十分給排気できる場所に設置されていますか。	3	
ガス配管・電気工事		接続は正しく施工され、ガス漏れ等がありませんか。	10~12	
ラベル貼付		接続具の施工者ラベルおよび連絡先のステッカーを貼付しましたか。	10	
その他		オーブン庫内に同こん物が残っていませんか。		

試運転

1. 取扱説明書の「使いかた」に基づいて試運転を行ってください。
2. 試運転終了後 及び 長期間使用しないときはガス栓を閉じてください。また専用ブレーカーの場合はブレーカーを切ってください。※ブレーカーを切る場合は本機器専用ブレーカーであることを確認してください。

お客様への取扱説明

1. 取扱説明書によって、機器の取扱いを説明してください。
2. 試運転終了後、保証書に必要事項を記入のうえ、この「工事説明書」とともに、お客様に渡していただき、保管のお願いをしてください。

安全に正しく使用していただくために

● ここに示した注意事項は機器を正しく安全に設置工事していただき、設置工事作業者 及び 機器を使用されるお客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

● 誤った工事により生じる危害・損害の程度をつぎのように区分しています。

⚠ 警告	作業を誤った場合に設置工事作業者または、設置後の製品の不具合によって、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	作業を誤った場合に設置工事作業者または、設置後の製品の不具合によって、使用者が傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています
●この印刷物は植物性大豆インキを使用しています。

ケE27
7RC6P104-16476 (0702-00)

1.設置工事をされる方へ

⚠ 警告

- この「工事説明書」に従い、有資格者による正しい工事を行ってください。
- 建築基準法、各都市の条例、消防法、ガス事業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準および実務指針」(日本ガス機器検査協会刊)、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」に従ってください。
- 誤って不適応なビルトインコンロと接続された場合、重大な事故の原因になります。
この機器は、必ず当社指定のビルトインコンロと接続してください。もしオーブン単独で使用されますと、ビルトインコンロとの接続用フレキ管のゴムキャップ部からガス漏れしたり、機器の排熱によるキャビネット損傷等の思いがけない事故の原因となります。

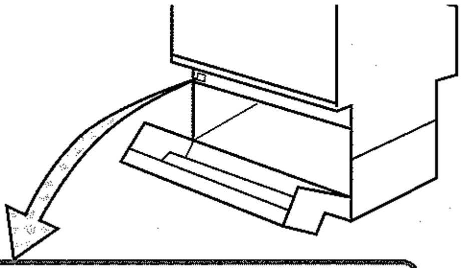
⚠ 注　意

設置前の注意

1.機器の確認

機器の下部とびらをあけ、本体正面左下部に貼ってある銘板及び下部とびらの内側に貼ってある銘板の表示内容を確認してください。

- ガス種と使用するガス(ガスグループ)の種類が適合していること。
- 電源(電圧・周波数)と使用する電源とが適合していること。
周波数は50Hz-60Hz共通使用になっています。



ガスの確認

型式名
○○ガス用
ガスグループ　ガス消費量
製造年月　製造番号　製造事業者名
品名コード
事業者名

電源の確認

PS E　製造事業者の略号
定格電圧　100V
定格周波数　50-60Hz
定格消費電力　△△△△W
定格高周波出力　600W
ガス高速オーブンの消費電力

コンビネーションレンジタイプ

定格電圧　100V
定格消費電力　△△W
定格周波数　50-60Hz

ガス高速オーブンタイプ

2.配管等の確認

ガス栓が、機器設置後でも手前側から開閉できることを確認してください。

3.設置工事後の点検項目の確認

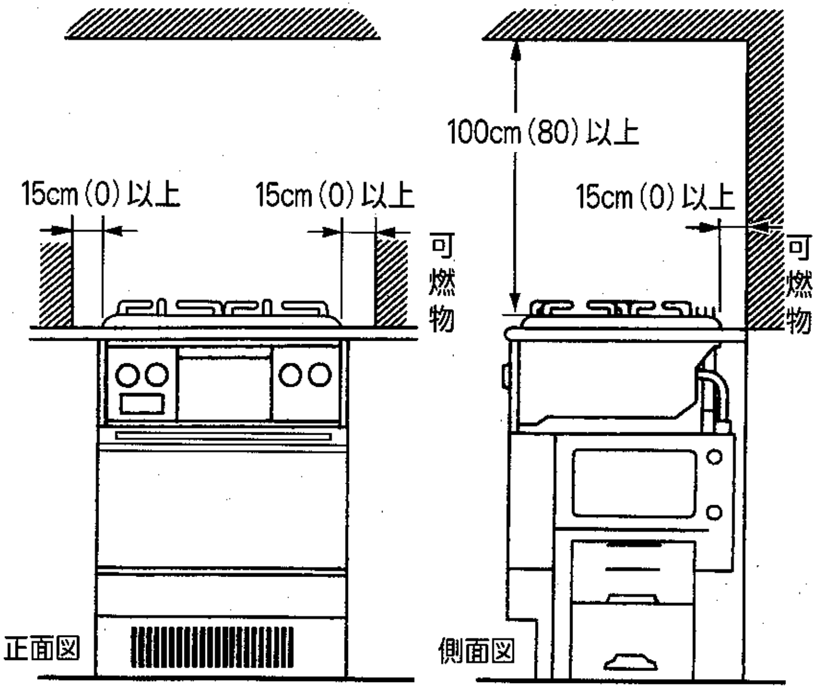
まず (設置工事後の点検確認) を理解してから次へ進んでください。

⚠ 注　意

設置場所の確認 設置工事を始める前に、次のことを確認してください。

1.火災予防上について

- ガソリン、ベンジン、接着剤などの引火性危険物を扱う場所には設置しないでください。
- 火災予防条例に準じ、下図のようにトッププレートより上の側面および背面は、木製のような可燃物から15cm以上離して設置してください。また上部に可燃物（吊り棚等）がある場合は、トッププレート上面と可燃物の間に100cm以上の空間を設けてください。
- ビルトインコンロ側の工事説明書もよく読んで確認してください。
- 本体の一部が家屋の壁面のラスに触れたり、水切りカバー・壁の防熱板に接触するおそれのある場合は、絶縁テープなどで電気的に接触しないようにしてください。
（電気設備技術基準167条により義務づけられています）



※（ ）内は防熱板や不燃性の壁を取り付けた場合の寸法

2.給排気について

- 換気（給気、排気）が十分できる設備（換気扇、換気口など）があるところに設置してください。

3.設置場所の周囲について

- テレビやラジオの雑音や映像の乱れを防ぐため、テレビ・ラジオなどを3m以上離してください。
- 棚の下など落下物の危険のあるところ、および樹脂製の照明器具の下には設置しないでください。

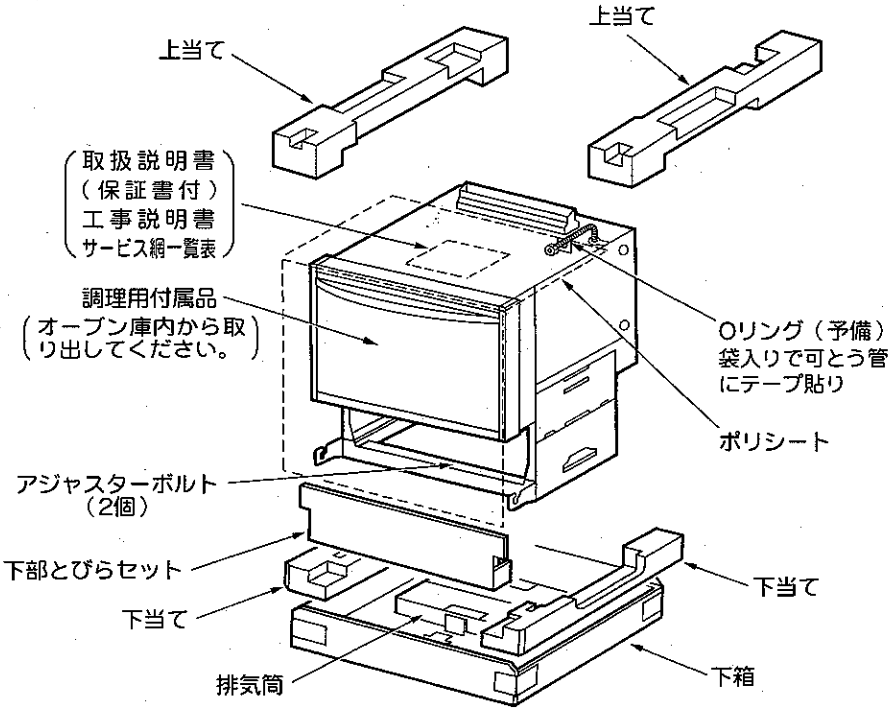
4.設置場所のふん囲気について

- 水のかかる場所は部品の故障、ガラスの破損や漏電の原因になりますのでさけてください。
- 丈夫で水平な場所に設置してください。

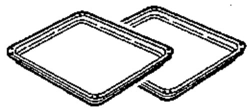
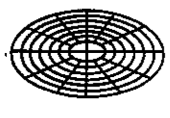
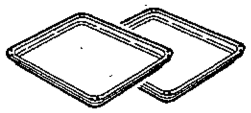
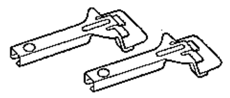
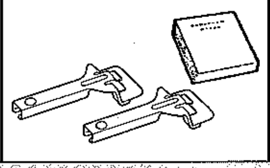
※設置場所の詳細は、ビルトインコンロ側の工事説明書も参照してください。

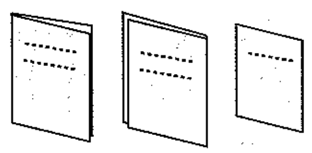
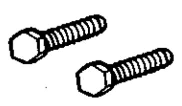
2.開こん

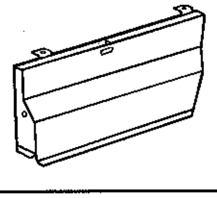
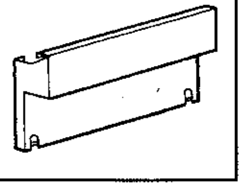
- 本体段ボールを開けると図の通り梱包されています。
- 上当て・下当てなどの緩衝材をすべて取り除き、オーブン庫内から付属品を取り出してください。
- 下部とびらセットと排気筒は、本体とは別になっています。緩衝用の段ボールを取り除いてください。



3.同こん部品の確認　設置工事を始める前に、同こん部品の種類と数をご確認ください。

<table>
<tr><th colspan="5">オーブン庫内の付属品箱</th></tr>
<tr><th colspan="3">コンビネーションレンジタイプ</th><th colspan="2">ガス高速オーブンタイプ</th></tr>
<tr><td>オーブン皿：2個
（角皿）
</td><td>ターンテーブル：1個
（丸皿）
 </td><td>解凍網：1個
</td><td>オーブン皿：2個
（角皿）
</td><td>オーブン皿取っ手：2個
</td></tr>
<tr><td>角網：1個
 </td><td>ターンテーブル台：1個
 </td><td>オーブン皿取っ手：2個
クッキングブック：1冊
</td><td>角網：1個
 </td><td>クッキングブック：1冊
 </td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="5">付属品箱およびその他・・・コンビネーションレンジ、ガス高速オーブンタイプ共通</th></tr>
<tr><td>取扱説明書（保証書付）：1冊、
工事説明書：1冊
サービス網一覧表：1枚
</td><td>アジャスターボルト：2本
</td><td>Oリング：1個
（コンロ取り替え時用）

（予備）</td><td>排気筒：1個
</td><td>下部とびらセット：1個
</td></tr>
</table>

4.機器の設置

設置前の注意

■ビルトインコンロの確認

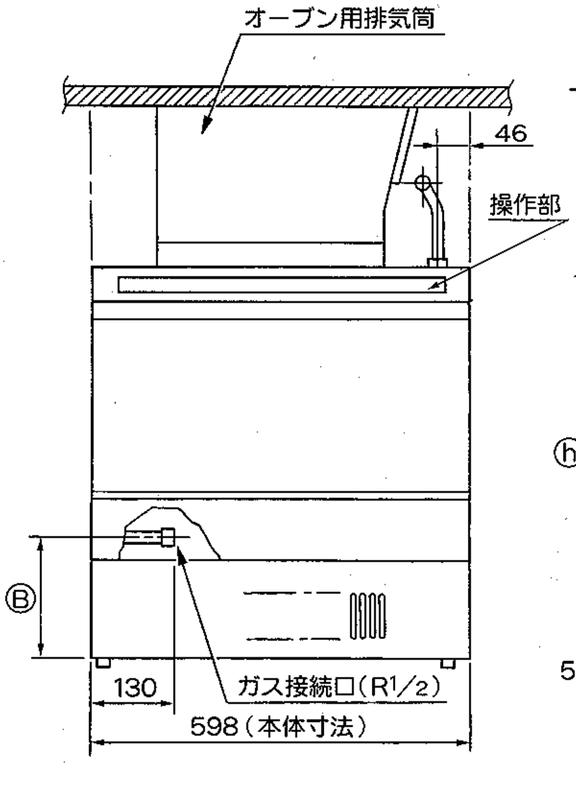
- 本機器と組み合わせて使用するビルトインコンロのタイプ（品番）を確認してください。

⚠ 注　意

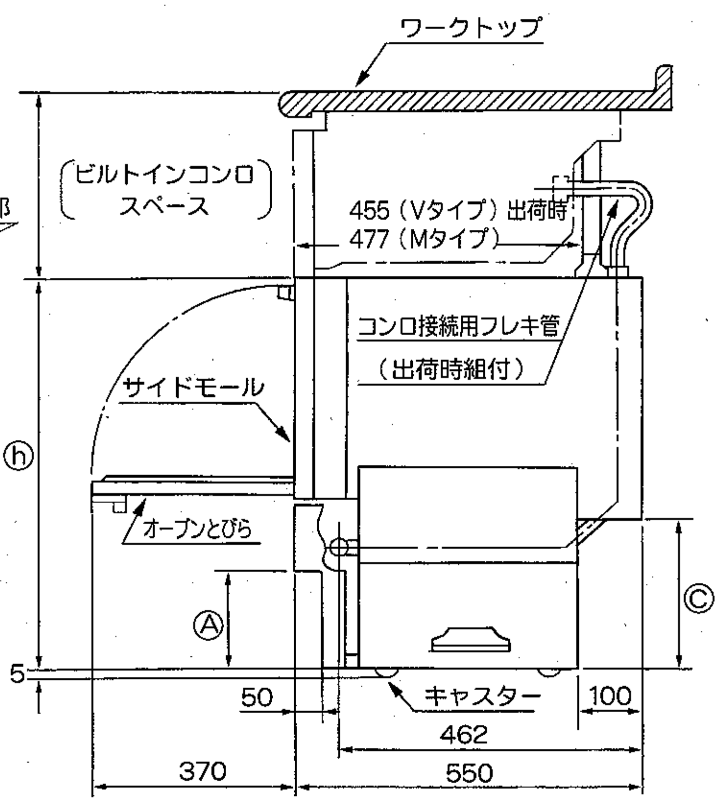
確認

設置する機器が使用するガスの種類に適合していることを銘板（ガス銘板）で確認してください。

■設置寸法図



正面図



側面図

［単位：mm］

- 機器高さ（ⓗ寸法）は635～575mmの範囲で7段階に調節できます。
  この場合のⒶ・Ⓑ・Ⓒの各寸法は下表の通りです。

単位：mm

機器高さ　ⓗ	635	625	615	605	595	585	575
ケコミ高さ Ⓐ	110	100	90	80	70	60	50
配管高さ　Ⓑ	148	138	128	118	108	98	88
後部スペースⒸ	190	180	170	160	150	140	130

↑出荷時（625の列）

※機器高さⓗはキャスターの高さ寸法5mm含まず

機器の設置

⚠ 注　意

確認

設置作業にあたっては、ケガなどしないよう手袋や作業服を正しく着用してください。

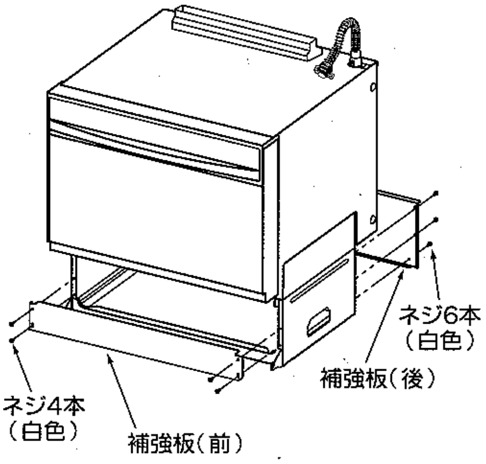
1.前後にある補強板を取り外す　（出荷高さ625mm）

- 梱包から機器を取り出し、機器前面４本（白色）後面６本（白色）のネジで固定している補強板（前）（後）を取り外してください。【図1】

※ 機種により取り外すネジの本数は異なります。
（補強板(前)(後)は輸送時の補強部品で設置後は不要です。）

- 取り外したネジ（2本）は 3.機器高さ ⓗ の調節 で使用しますので保管してください。

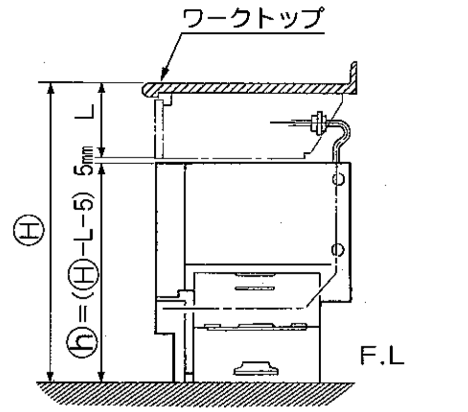
【図1】



2.機器高さ ⓗ の確認

- このオーブンの場合はこんろへの過熱を防止するためにこんろとオーブンの間に5mmのスキ間が開くように設置してください。
- ワークトップ高さ Ⓗ とビルトインコンロ高さ（L）を確認してください。【図2】
- 機器をⓗの高さ（Ⓗ－L－5）になるように調節してください。

【図2】



〔例〕 ビルトインコンロ　L＝220mmの場合
ワークトップ高さ　Ⓗ＝850mmの場合

機器高さ ⓗ ＝ Ⓗ－L－5mm
＝850mm－220mm－5mm＝625mm

ワークトップ高さ Ⓗ	コンロ 220mm	860	850	840	830	820	810	800
	コンロ 270mm	910	900	890	880	870	860	850
機器高さⓗ		635	625	615	605	595	585	575

⇧ 出荷時（625の列）

単位：mm

※ 機器高さⓗはキャスターの高さ寸法5mm含まず
※ ビルトインコンロ高さが270ｍｍのときは、別売の排気筒スペーサーが必要です。

3.機器高さ ⓗ の調節

- ワークトップ高さ Ⓗ850mm以外の場合は機器高さ ⓗ を変更ください。

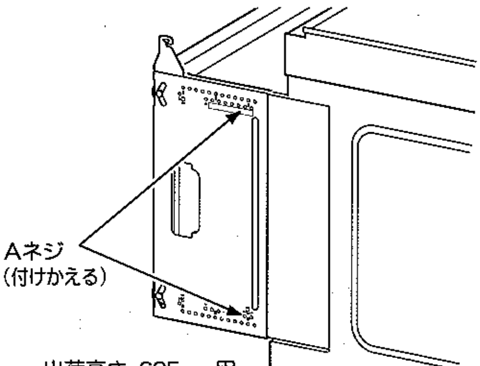
⚠ 注　意

確認

機器を倒したり、立てたり、移動したりする場合、床面等に傷をつけないように注意してください。
（養成シートや古毛布などを使用してください。）

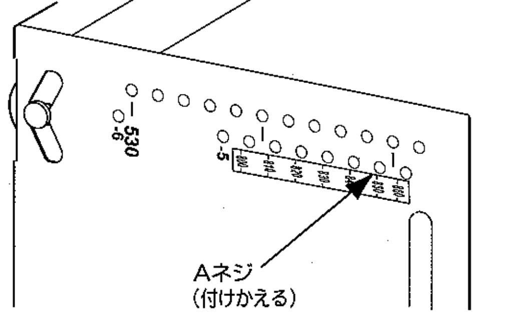
- 機器をうしろ向きに倒して、Aネジ４本（黒色、両側面・各2本）を調節したい位置に付けかえて固定してください。【図3】

【図3】



出荷高さ 625mm用

【拡大図3】



4.機器の設置

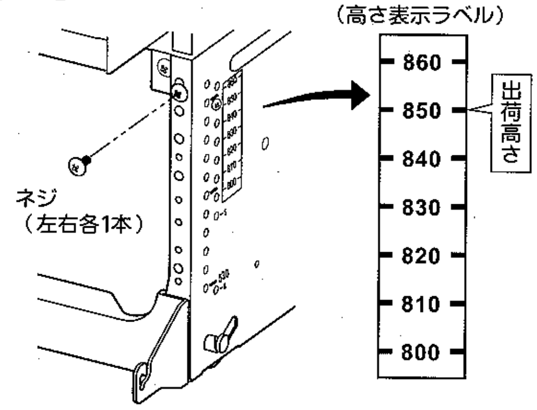
● 台枠部の高さ表示ラベルは、ワークトップ高さ Ⓗ寸法を表示しています。【図4】

（7.機器の据え付け 後、キャスターを収納すると機器高さⓗとなります。）

● 固定がすんだら機器を元どおり立ててください。

● 1.前後にある補強板を取り外す で取り外したネジ(2本)は機器前面の穴の合った所で固定してください。【図4】

【図4】



4.排気筒(下)固定位置の確認または、調節

※本機器は、排気筒（下）の固定位置を変えることによって設置寸法を変えることができます。

※本機器仕様で上部ビルトインコンロタイプ、またはワークトップ穴開け寸法に合わない場合は、排気筒（下）の固定位置を変えて設置してください。【図5】

※こんろ部のタイプ及び設置寸法については、ビルトインコンロ側の工事説明書をご覧ください。

［固定位置の確認］

こんろ部の タイプ	ワークトップ穴開け寸法	排気筒(下)固定位置（刻 印）
設置フリータイプ	A+37~(A+45)~A+59	V(37)（45）
Vタイプ	A+37	
Mタイプ	A+59	M(59)

［固定位置の変更］【図5】

● 排気筒(下)固定ビスを少しゆるめてください。(左右、2本)

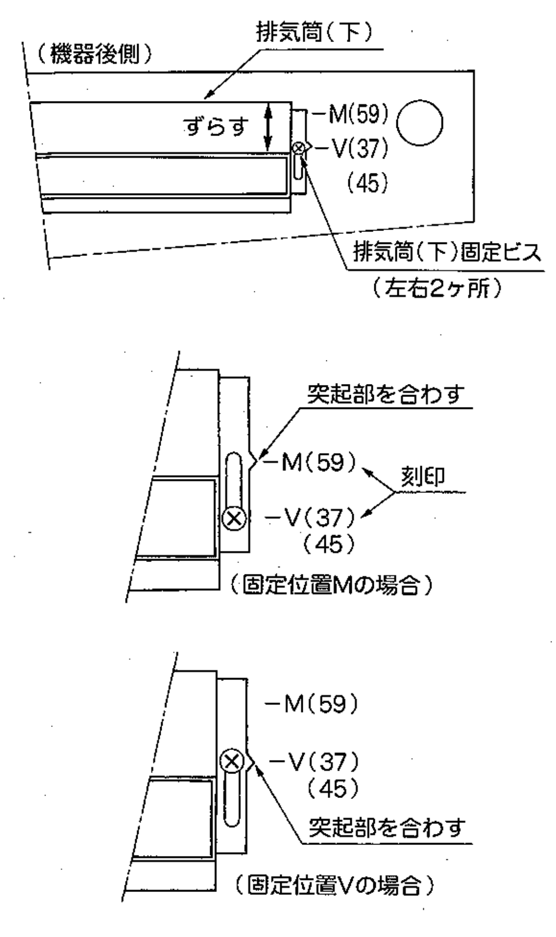
● 排気筒(下)を上記の刻印の位置にずらしてください。

● 固定ビスを再度締めて排気筒(下)を固定してください。

［ご注意］
固定位置は、上記のどちらかの位置にしてください。
途中の位置では固定しないでください。

※ 排気筒（上）の取付方法はビルトインコンロの工事説明書を参照してください。

【図5】



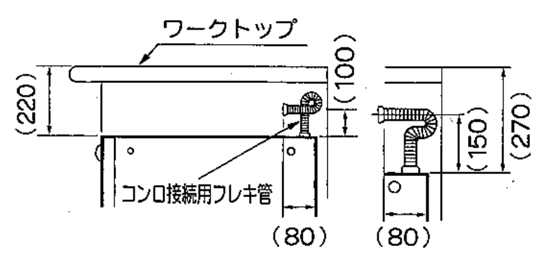
5.コンロ接続用フレキ管の調節

● ビルトインコンロの高さが220mmの場合と※270mmの場合があります。

● 機器に組付しているコンロ接続用フレキ管を【図6】のようにあらかじめ曲げておいてください。

※ビルトインコンロの高さが270mmのときは、別売の排気筒スペーサーが必要です。

【図6】



［単位：mm］

4.機器の設置

6.機器の挿入

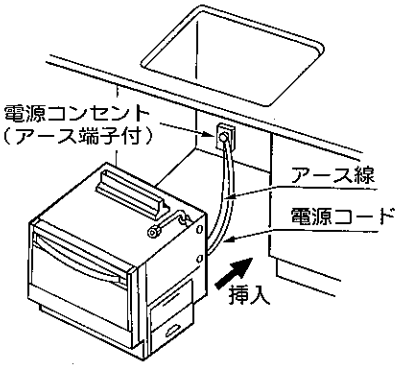
- 電源コード・アース線を電源コンセントに接続して床面にはわしてください。（電源コンセントの位置については【図14】を参照してください。）
- 機器をキャスターでスライドしてカウンター内に挿入してください。【図7】

⚠ 注　意

確認

機器は水平でしっかりした床面に設置してください。
機器を設置するときは床面等にキズをつけないよう注意してください。

【図7】

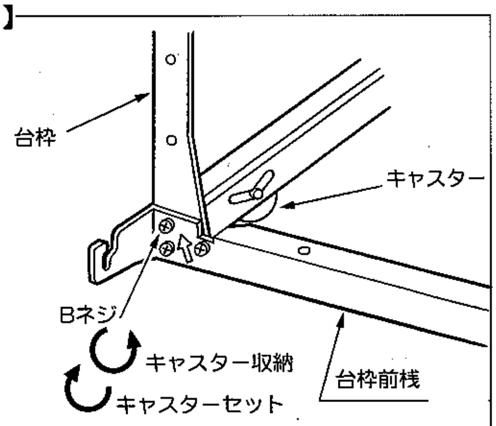


7.機器の据え付け

- キャビネットのとびら前面と機器のサイドモール前面とのツラを合わせてください。
- Bネジ（左右）各1本（銀色・前面の矢印部）を 左方向へ回転してキャスターを台枠内に収納してください。
約5mmほど機器が下がり移動を防止します。【図8】

［ご注意］
機器を引き出す場合は、Bネジ（左右）各1本を右へ回転すると再びキャスターが出てきます。

【図8】



8.ビルトインコンロとの接続

- ビルトインコンロを設置した後、機器のコンロ接続用フレキ管を利用して、ビルトインコンロとの接続を行ってください。また付属の排気筒を接続してください。
- 詳細についてはビルトインコンロ側の工事説明書を参照してください。

9.機器の移動防止及び高さの微調節

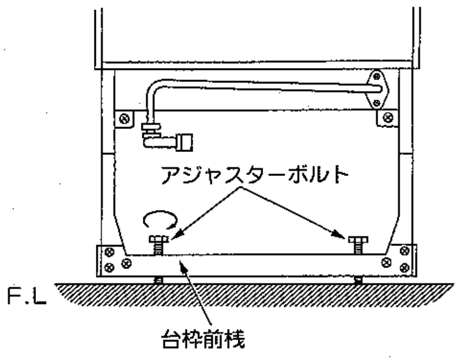
- ビルトインコンロと接続した後、機器の移動防止及び高さの微調節を行ってください。【図9】
- 同こんのアジャスターボルト2本を台枠前桟に取り付け、締め込むことにより調節できます。

⚠ 注　意

確認

ビルトインコンロと機器のスキ間は、5mm程度までとし、ビルトインコンロが浮き上がらないよう注意してください。

【図9】



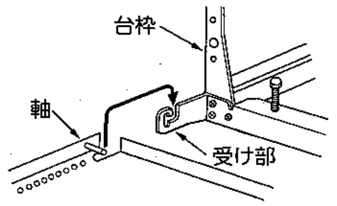
10.下部とびらの取り付け及び高さ調節

- 下部とびらは、機器の高さ ⓗ=625mm用にセットしています。
- 下部とびらの軸を台枠の受け部へはめ込み、上下方向に可動することを確認してください。【図10】
- 下部とびらを開閉して、上部の突起部にはめ込みが確実か確認してください。【図11】
- 下部とびらのはめ込みが合わない場合は、Cネジ（左右）各1本（黒色）を少しゆるめて調節してください。【図12】
  （取付け穴が長穴になっていますので微調節できます）
- ワークトップ高さによって機器高さ（h）を変えた場合は、Cネジ（左右）各1本（黒色）を取り外し、下部とびら上・下を機器高さに合う位置に付けかえてください。【図12】
- 下部とびらの高さ調節穴位置は、台枠部の機器高（h）調整用の穴位置と同じ関係（ピッチ10mm）になっています。
- 下部とびら上部、下部を取り付ける場合は、Cネジをゆるめに取り付けて、下部とびらをはめ込んでから再度ネジを締め付けてください。【図12】

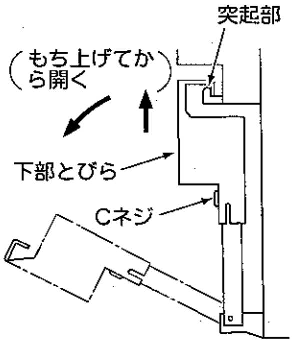
⚠ 注意

確認 下部とびらの開閉が確実か確認してください。【図11】
オーブンとびらを開閉したとき、下部とびらに当たらないように調節してください。

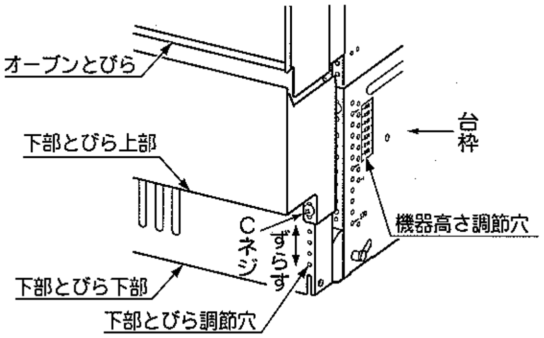
【図10】



【図11】



【図12】



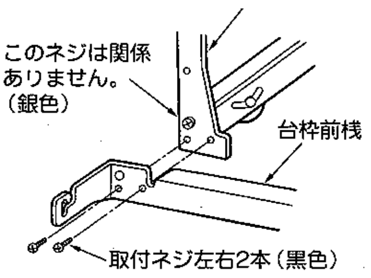
11.ガス接続するにあたって

- ガス接続作業がしにくい場合は、前面下部の台枠前桟を取り外して作業を行ってください。（ネジ左右各2本・黒色）【図13】
- 接続完了後は再び台枠前桟を取り付けてください。

⚠ 注意

確認 機器の移動防止のためにアジャスターボルトは必ず締め付けてください。

【図13】



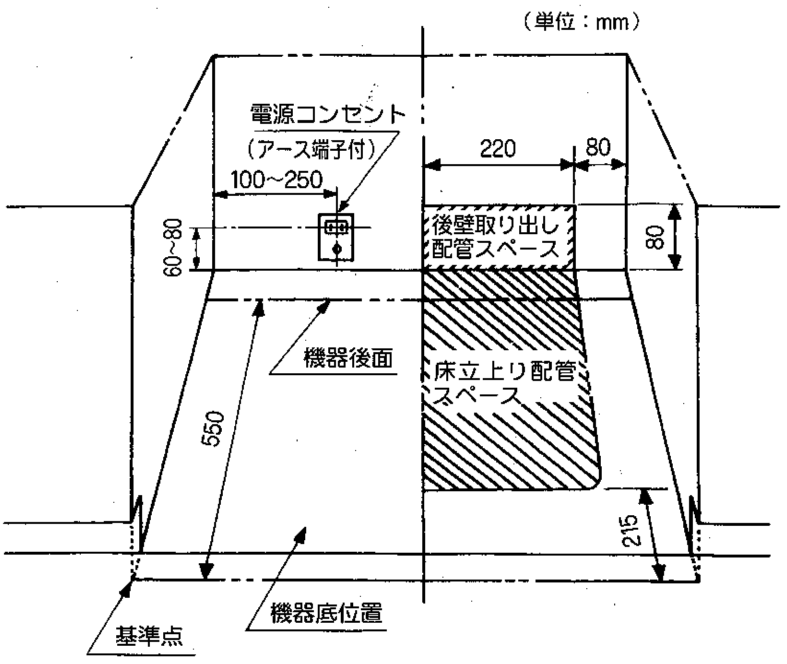
5.ガス配管・電気工事

■ガス配管工事

1.ガス事業者・金属可とう管接続工事監督者の方へ

- ガス配管・電源コンセントの取り出し位置を確認してください。【図14】
- ガス栓は 5.標準配管施工例 に従って取り付けてください。【図17】
- 工事終了後必ず施工者ラベルに所定事項を記入し、金属可とう管に貼付してください。

【図14】



ガス配管・電源コンセント取り出し位置図

2.ガス栓

- 機器を設置する場所にガス栓がない場合、 あるいはあっても適切でない(位置、口径)場合は、新設または交換する必要があります。

3.ガス接続

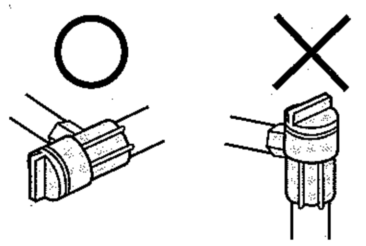
- ガス接続部はR1／2オネジになっています。必ず金属可とう管にてガス接続してください。
- ガス栓はL型可とう管コックを使用してください。
- ガス栓のつまみは、必ず配管に対し水平方向になるよう施工してください。万一、配管に対し垂直方向に施工したときはメンテナンス時に修理できない場合があります。【図15】

⚠ 警　告

確認

- ネジ接続のガス配管接続工事については有資格者による工事が必要です。
- 接続完了後は必ず漏えい検査をしてください。

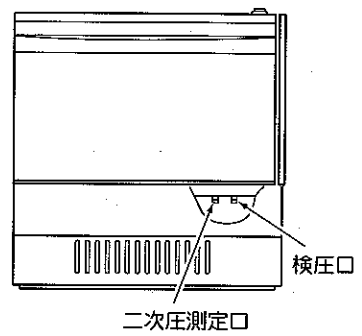
【図15】



4.金属可とう管接続工事方法

- 配管位置は 5.標準配管施工例 の寸法図を参照してください。【図17】
- 機器を据え付けて室内配管と機器ガス接続口を金属可とう管で接続してください。
- ガス漏れを確認してください。検圧口はオーブン入口部の近くにあります。（機器前面右側下部）【図16】
- 工事終了後必ず施工者ラベルに所定事項を記入し、金属可とう管に貼付してください。

【図16】



⚠ 警　告

検圧口を確実にふさいでガスを通し、検圧口のガス漏れを確認してください。

確認

5.標準配管施工例

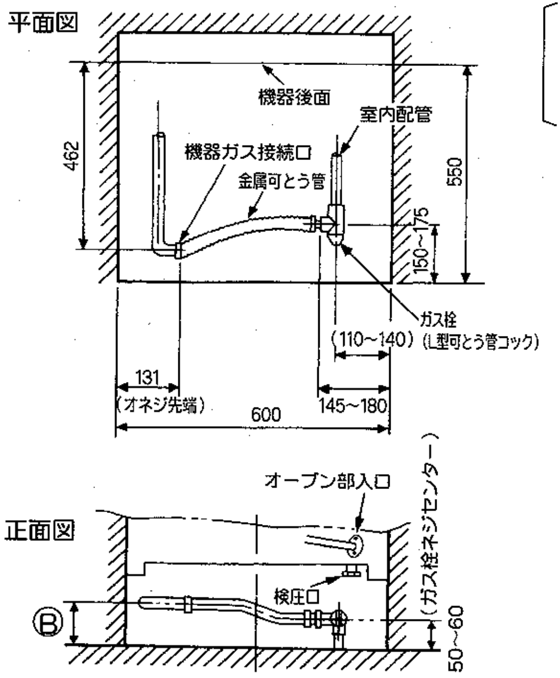
※Ⓑ寸法はⓗ寸法（機器高さ）により異なります。
下表を参考にして工事をしてください。【図17】

単位：mm

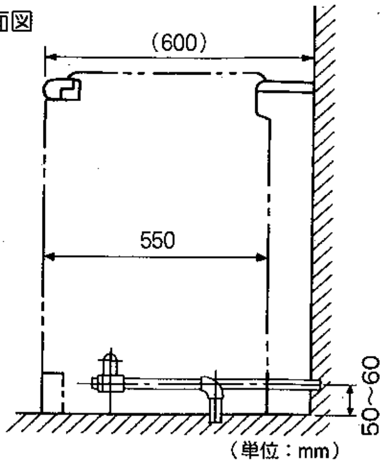
機器高さ ⓗ	635	625	615	605	595	585	575
配管高さ Ⓑ	148	138	128	118	108	98	88

↑ 出荷時（625 / 138）

【図17】



機器ガス接続口及びガス栓は、ネジ接続口の端面及び口径の中心位置とする。



（単位：mm）

■電気工事

1.電源コードの接続

● 電源プラグは専用コンセントに差し込んで単独でお使いください。【図18】

電　源	交流100V・50-60Hz共用	
消費電力	コンビネーションレンジタイプ	1350 W
	ガス高速オーブンタイプ	120 W

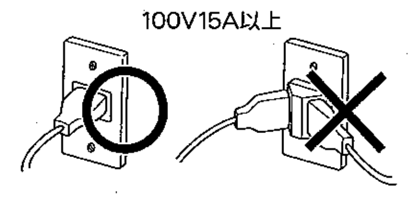
● 特に電子レンジとしてお使いの場合は、同一ブレーカー回路でトースターや電気炊飯器などの電熱機器を同時に使わないでください。

● テレビ、ラジオの雑音や映像の乱れを防ぐため、テレビ、ラジオなどを3m以上離してください。また、できるだけ別のブレーカー回路でお使いください。

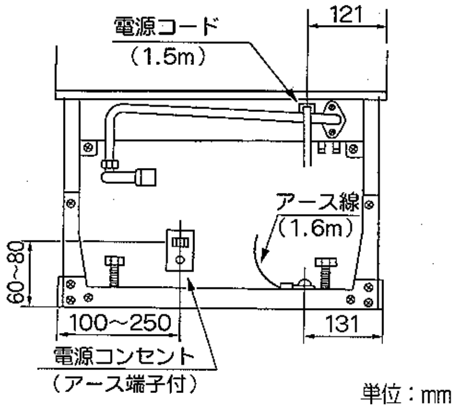
● 電源コンセント（アース端子付）は右図の位置（後壁部）に取り付けることをおすすめします。【図19】

● 機器用コンセントはアース端子付きのものを推奨します。

【図18】



【図19】



⚠ 注　意

確認

● 接続作業は必ず専門の係員におまかせください。

● ビルトインコンロ側も100Vが必要なときは、オーブンとは別の電源コンセントを利用してください。

2.アースについて

● 万一の感電防止のためにアースを取り付けてお使いください。

● アース取り付けは販売店または電気工事店にご相談ください。

● 次のような場合は必ずD種接地工事（第３種接地工事）【接地抵抗100オーム以下】をするよう法律で義務づけられています。

※湿気の多い場所　● うどん屋さん、そばやさんなどのように水蒸気の充満した場所。
● 土間、コンクリート床の場所。
● 酒、しょうゆなどの醸造、または貯蔵する場所。

※水気のある場所　この場合は漏電遮断器の取り付けについても義務づけられています。
● 魚屋さん、八百屋さんの作業場などの水を取り扱う場所、その付近の水滴が飛散する場所。
● 常に水が漏出したり結露する場所。

［ご注意］

● アース線はガス管や水道管、電話専用のアース線には絶対に接続しないでください。